

事前防災、減災及びその他迅速な復旧復興などに資する大規模自然災害に備えた草津市全体にわたる強靱なまちづくりについて、過去の災害から得られた経験を最大限活用しつつ、下記の視点に基づき取組を進めます。

草津市国土強靱化地域計画

強くしなやかな草津市へ

基本的な方針

1 地域を強靱化する上での基本目標

- 01 人命の保護が最大限図られること
- 02 社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- 03 市民の財産および公共施設に係る被害の最小化
- 04 迅速な復旧復興

2 事前に備えるべき目標

基本目標を具体化した6つの「事前に備えるべき目標」を設定

- ☑ あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ
- ☑ 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより関連死を最大限防ぐ
- ☑ 必要不可欠な行政機能を確保する
- ☑ 経済活動を機能不全に陥らせない
- ☑ 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限にとどめるとともに、早期に復旧させる
- ☑ 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

脆弱性評価および強靱化の推進方針

脆弱性評価

6つの事前に備えるべき目標を達成するうえで妨げとなる事態として

25項目のリスクシナリオを設定 ⇒ 現状の課題整理

推進方針

■ 脆弱性評価の結果に基づき、強靱化のために必要な施策を下記の施策分野ごとに設定

個別施策分野

- ①行政・消防機能 ②住宅・都市
- ③保健医療・福祉
- ④環境・エネルギー
- ⑤産業・農林水産 ⑥交通・物流

横断的施策分野

- ①リスクコミュニケーション
- ②老化化対策 ③デジタル活用

計画の推進



市強靱化地域計画に基づく国土強靱化の取組について、KPIの進捗度を中心に、進捗状況を把握